

平成30年度吉敷地区地域づくり協議会総会、吉敷自治会代議員会、
吉敷地区社会福祉協議会代議員会 会議録

開催日時	平成30年5月12日（土曜日）13:30～15:45
開催場所	吉敷地域交流センター講堂
出席者	別紙のとおり
内容	1. あいさつ 【小田会長】 挨拶 【岡本会長】 挨拶 【林会長】 挨拶 2. 議長選出 【事務局】 議長及び議事録署名人の選出について諮ったところ、執行部に一任する声があったため、議長を中尾東上町内会代議員の山縣氏に、議事録署名人を中村町内会代議員の吉田氏及び下東町内会代議員の永久氏を指名し、承認された。 【議長】 挨拶 【議長】 議事に入る前に代議員の出席状況について執行部の報告を求める。 【事務局】 出席者35名、委任状8名、合計43名で、代議員総数52名の過半数に達していることから、それぞれの会則の規定により総会及び代議員会が成立している旨の報告を行った。 3. 議事 （1）平成29年度事業報告及び決算報告、監査報告について 【議長】 執行部に説明を求めた。 【役員】 それぞれの事業報告を行った。 【会計】 それぞれの決算報告を行った。 【監事】 それぞれの監査報告を行った。 【代議員】 人に対するボランティアの対価を話されたが、マンパワーは必要と思われる。大変ご苦労されている様子を見ており、検討されることは必要だと考える。が、何人必要であるのか過程を追いかけていき、それをPRすることも必要かと思う。対価を変えていくときには参考資料が必要であり、そ

れを具体的に示していただきたい。

【会計】

事務局の大変さを伝えていただいた。昨年度、事務局から業務の負担が大きいことを相談され、協議した。当面、現行体制でやっていくこととなった。大変なことは分かっているが事務局に負担をかけているのが現状。事務局体制の強化と合わせ、役員の活動の支援が必要ではないか、ということである。

【商工会】

役員は無償か。それで役員の担い手が出てくるか。他地域の様子はどうか。

【会計】

全ての地域を調査したわけではないが、会議出席ごとに実費弁償（300円～700円）しているところはある。

【商工会】

吉敷もそのようにしたらどうか。

【会計】

じっくり検討させていただきたい。

【議長】

他に質問がないので、承認される代議員の拍手を求める。

拍手多数と認め、議事（1）は承認された。

（2）役員等の改選について

【議長】

執行部に説明を求めた。

【役員】

資料に沿って説明した。

【議長】

人事案件のため、承認される代議員の拍手を求める。

拍手多数と認め、議事（2）は承認された。

（3）（仮称）吉敷まちづくり計画（第2次地域づくり計画・第3次地域福祉活動計画）（案）について

【議長】

執行部に説明を求めた。

【役員】

資料に沿って説明した。

【代議員】

地域には、維新公園、保健会館など大きい公共施設があるが、その施設の清掃ができていない。地域は自分たちの環境美化には力を入れているので、公共施設に対して、清掃を依頼することも地域として大切なことかと思われる。

【小田会長】

住みよいまちづくりのために地域住民の協力が大変ありがたい。県や市

の施設に対してお願いすることについては、私どもの方で進めていくように努力する。

【子ども会】

計画の中に子ども会のことを取り上げていただきありがたい。住居表示が変更されてから、自分の住む町内名が分からない若い人が多くなった。町内名が整理されたマップがあればありがたい。

【小田会長】

役員会で検討させていただきたい。

【議長】

他に質問がないので、承認される代議員の拍手を求める。
拍手多数と認め、議事（３）は承認された。

（４）平成３０年度事業計画（案）及び予算（案）について

【議長】

執行部に説明を求めた。

【役員】

それぞれの事業計画（案）を説明した。

【会計】

それぞれの予算（案）を説明した。

【代議員】

緊急時の対応について予算化されているが、今は自分で情報を取ることができる。設備を整えるについても費用対効果による検証が必要。

水防について以前、誰が対応かと聞いたところ、消防だと答えを頂いたが、消防に聞くと、水防はやらないと聞いた。一体どうなっているか。

【小田会長】

即答ができないことであるため、検討し、後日報告したい。

【環境】

老人クラブの活動について、現在１６町内のうち、７町内しか活動がない。地域づくりをする上で、老人クラブは重要な役割を担っていると思われる。老人クラブが大きくなると地域づくりの発展にもつながる。単位町内会だけに依頼すると進まないため、底上げができる体制づくりを検討していただきたい。

【小田会長】

これも即答が難しい。老人クラブ会員が減少したり、クラブ自体がなくなった町内もあると聞く。長く働かれる方が増えたことも「老人」という響きが嫌だという意見もその原因かと聞く。検討していきたいと思う。

【消防団】

地域活動の内容について：

消防団の活動として、現在は消防と水防がある。消防本部からの要請により火消しの出動があるが、その他火災（田畑の出火、交通事故火災など）は出動しない。台風や大雨の際、交流センターに水防本部が立ち上がり、センター所長の指示により水防に関わることになる。ひとり暮らしの方の確認をしている。

	先ほど予算の説明の中で無線設備の充実があったが、水防活動の際、情報をいち早く水防本部のセンター所長に届けるのが必要なため、団から提案させていただいたもの。 【青少協】 まちづくり計画内(P15, 16 ④)について、創設したいと考えている。皆さんにも趣旨に賛同していただき、参加してもらえると助かる。 【議長】 先ほどの説明の中に JA 会館の活用について検討される旨あったが、現在会館は、ふれあい吉敷支所となり、職員も常駐し業務もやっていることをご報告する。 【議長】 他に質問がないので、承認される代議員の拍手を求める。 拍手多数と認め、議事(4)は承認された。 以上をもって議事を終え、議長を退任する。 4. その他
問い合わせ先	吉敷地区地域づくり協議会・吉敷自治会・吉敷地区社会福祉協議会 (TEL・FAX) 083-922-3344

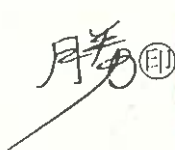
以上の議決事項を明確にするため、議長及び議事録署名人は次に署名押印する。

平成30年 6 月 6 日

議長

山 縣 和 人 

議事録署名人

吉 田 勝 

議事録署名人

永 久 ひ ろ み 